

＜プロジェクト A-2＞ 「エンジニアという職業を語ろう」

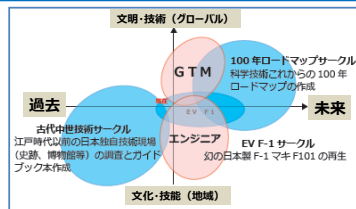
プロジェクトメンバー：

- ・ リーダー 市川 聡：元日産自動車
- ・ メンバー
- ・ 宗像 基浩：三菱化学
- ・ 中谷 康雄：東京エレクトロテクノロジーソリューションズ
- ・ 成田 正見：小野薬品工業
- ・ 原田 孝夫：神戸製鋼所
- ・ 福井 清：日鉄住金テクノロジー 藤月 学：ユニカ
- ・ 船渡 俊行：三菱重工業
- ・ 川島 幸也：シモンアツクル
- ・ 竹下 大志：キリンビール
- ・ 中東 登志子：旭・デュポン フラッシュパンプロダクツ
- ・ 中山 敦：アサヒストン
- ・ 佐藤 明：日立製作所
- ・ 清川 崇平：日鉄住金化学

プロジェクト実績（2013年から）

- ・ 高校生 6回開催 西宮北高校4回、三島高校1回、四日市南高校1回
- ・ 大学生 2回開催 早稲田大学 立命館大学（その他 兵庫県立大学他3公立大学大学院2回）

エンジニアという職業を語ろうProj. 活動の目的



- ・ 中等教育（中学・高校）におけるキャリア教育では、**質の高い出会い（人、体験）**が、個人の学びと成長において重要です。そのような教育の現場で、**企業の現役エンジニアが最先端技術やエンジニアという職業について自らの体験を基に情熱を持って語る**ことは、とても有益な事だと考えます。
- ・ テクノ未来塾会員による**パネルディスカッション**＋**聴講者**を加えた**ワールドカフェ（対話）**を通して、『理系のキャリア』に対する多くの**気づきを提供**します。

エンジニアという職業を語ろうProj. 三重県立四日市南高等学校の場合³

本気の大人との交流による高校生への啓発

高校の先生と未来塾メンバーによるパネルディスカッション

- ・ 「企業で働くこと」と「学校で働くこと」の違いからの学び
- ・ 選んだ動機、働く目的、目標やバックグラウンドなどの違い など
- ・ 企業で働くことへのイメージ作り



エンジニアという職業を語ろうProj. 三重県立四日市南高等学校の場合⁴

ワールドカフェ

高校生と未来塾メンバーおよび先生を交えたディスカッション

- ・ 目的
 - ・ 働くことについて少しでもイメージしてもらう
- ・ 議論した内容
 - ・ 働くことは？ どういう未来にしたいのか？
 - ・ 自分の夢をどう実現するか？
 - ・ 技術者としての将来だけでなく、文系理系とはといった議論も実施



エンジニアという職業を語ろうProj. 兵庫県立西宮北高校の場合⁵

エンジニアの日常をわかりやすく伝える

- ・ 2014年から毎年1回実施
- ・ 理系選択の高2生徒を対象、物理2コマで講義と質疑
- ・ 利用する知識や考え方
- ・ 経験・変化・21世紀の夢



エンジニアという職業を語ろうProj. 兵庫県立西宮北高校の場合⁶

鉄・金属技術、ゴム技術とエンジニア

- ・ 共通点： エネルギー保存則、強くしなやかなモノを実現する
- ・ 職業観： エンジニアとは、夢をカタチにする人々

提供する“気づき”

- ・ 物理が「鉄づり」に活きる「意外さ」、ゴムの伸縮も高分子の運動
- ・ 経験は広がる～専門領域外へ、過去・未来へ、日本から世界へ

生徒の感想

- ・ 身近だが知らなかった、興味を持った、サンプルで実感、謎深い。
- ・ 技術の進化はとても速い、苦手科目も大事、失敗も糧。
- ・ エンジニアの親と話す、第4次産業革命で人の仕事はどう変わるか？





早稲田大学理工学部

- ・ 2013年11月
- ・ 「エンジニアが起業で働くとは」
- ・ パネルディスカッションとワールドカフェ
- ・ 早大生 28名
- ・ テクノ未来塾 16名



立命館大学びわこくさつキャンパス

- ・ 2014年11月
- ・ 大学共催セミナー
- ・ 「技術者としてのキャリアを考える」
- ・ パネルディスカッションとワールドカフェ
- ・ 理工系院生 20余名
- ・ 教授・事務局 各1名
- ・ テクノ未来塾 12名
- ・ 事前にファシリテータ勉強会も開催

(兵庫県立大学・大阪市立大学・大阪府立大学)

博士課程3年のみなさんの開発実務への橋渡

- ・ 企業での開発業務と生産業務の違い、業績への開発の貢献とリスク
- ・ 思い込みと市場の読み違いなど、かすかすの失敗
- ・ スピードとマネー感覚など新製品開発への課題
- ・ グローバル感覚と自己評価のギャップの気づき
- ・ 個性的な未来技術への希望の共有化

